

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和3年5月14日

事業所名 児童発達支援・放課後デイサービス ねいろの森

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		限られたスペースではあるが、その日の利用人数に応じて使い方など工夫している	
	2	職員の配置数は適切である	○		十分な配置をしている	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○			
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○		支援や事業内容等で気になって事は、その都度話し合うようにしている	今後もスタッフ間のコミュニケーション、毎日の利用者様の記録により、情報交換を行いながら参画している
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている		○		2020年施設開業にて今回が初めてである。継続して行っていく
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している		○		今回行った結果を公表します
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		音楽療育に特化しており、リトミック研修などがいび研修会にも参加しています	音楽療育以外の研修も取り入れていく予定
適切 な支 援の 提 供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		契約の際に保護者様からお聞きした情報等を元にアセスメントシートを作成し、個々のニーズや将来への見通しを元に支援計画を作成している	今後も個々の希望に添えるよう話し合いし、過ごしやすくなるように努めていく
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		使用しているアセスメントシートを活用し、保護者様から聞き取りを基に適応行動の状況にの把握に努めている	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		常勤スタッフを中心に立案をしながら行っている	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		個別に合わせた活動や、利用状況に応じて様々な活動を組み合わせている	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		祝日、長期休暇に関しては平日には設定できない集団プログラムやリトミックを実施している	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	○		発達段階に合わせ、個別活動、集団活動それぞれに目標と課題を設定できるように努めている	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		『今日の予定』を毎朝スタッフ内で話し合い、一日の流れや担当者を決めている	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		一日の終わりにはスタッフが集まり、その日の反省や注意点、良かった点などを毎回話し合いを行い、共有している	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		利用の都度、支援状況やお子さまの様子を記録し支援計画に反映するように努めている	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		半年に一度のモニタリングを実施している	
関 係 機 関 や 保 護 者	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	○			
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	○		お迎え時に、小学校の先生方からお子様の一日の様子をお聞きし、全スタッフにも共有するように努めている	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	○			
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○			
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○			

者との連携	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		STさんやその他、相談できる場所に相談をしながら支援している	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○		コロナ禍の状況で交流は控えている
	27	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加している		○		コロナ禍の状況で交流は控えている
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		送迎時に情報交換を行うと共に、連絡帳を活用し事業所での様子をお伝えしている	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○		適切な対応ができるように心がけている	今後、どのような形で保護者向けに家庭支援の方法を伝えていくか、検討する
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			ご相談の都度行っているが定期的にも積極的に行っていききたい
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		コロナ禍の状況で交流は控えている
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○			
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		クリスマス会等行っている	コロナ禍の状況で交流は控えている
	35	個人情報に十分注意している	○			
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		子どもに関しては絵カードや写真を活用したり、音色(キーボード)や歌で知らせるなど配慮している	
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		コロナ禍の状況で交流は控えている	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○		マニュアル作成、責任者、研修は行っている	定期的に作成済みのマニュアルを元に勉強会をしていく予定
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		消防署に来てもらい防災訓練は年に2回行っている	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		マニュアルを元に研修会を行った	継続して、研修に行く、スタッフ間でのシュミレーション行い研磨していく予定
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○			このような状況がないが、起こりうる利用者が入所された場合は、行っていく予定
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		現在はいませんが、おられたらスタッフ間での共有をもとに十分気を付けて対応し、緊急対応についてもシュミレーションします	
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		記録を作成している。事業終了後やミーティング等で事故防止についての共有を行っている		